



JAPAN AIRLINES

JAL Times

2022年度 第15号

日本航空 旅客販売推進部/11月7日発行

JALの新たな取り組み

JALでは地域創生のため、さまざまな取り組みを推進してまいります。

地域創生

JTB・JAL・JALUXは、地域活性化を目的に、 「空の御朱印」として空港にて「御翔印」と「御翔印帳」を発売中！！

「御翔印」



本取り組みは、「交流創造事業」(*1)を事業ドメインに地域活性化と持続可能な地域づくりの実現をめざすJTBと、JALグループ内の業種を超えた社員の取り組みである「ふるさとの“わ”」(*2)の活動が共創し、「歴史ある御朱印をアレンジして国内の各空港に配備し、さらには日本のみならず世界にも広めたい」という想いから実現に向けて検討してきました。

(*1)「交流創造事業」は株式会社JTBの登録商標です。

(*2)「ふるさとの“わ”」とは、JALの地域活性化活動「JALふるさとプロジェクト」の活動です。

「御翔印帳」



まずはJALが就航する11空港(*3)にて「御翔印」を、同11空港とJALの公式ショッピングサイト「JAL ショッピング」やJTBの2店舗（JTBトラベルゲート有楽町、JTB大阪天王寺店）などにて「御翔印帳」を販売。

将来的には、JALが就航するその他の国内空港への拡大を予定しており、また、海外空港への展開も検討しています。その他、「御翔印」をテーマにしたツアーも検討しています。

(*3) 札幌（新千歳）、東京（羽田）、新潟、名古屋（中部）、大阪（伊丹）、徳島、高松、高知、松山、福岡、沖縄（那覇）

「JAL ショッピング」 URL :

https://www.shop.jal.co.jp/s/soranogoshoin/?utm_source=jal&utm_medium=groupsite&utm_campaign=gs20220916

地域創生

ふるさと納税で各地域の「次世代応援」や「自然環境保護」をサポート、 マイルがたまる「JALふるさとクラウドファンディング」サイトオープン

- ▶ JALとJALUXは、ふるさと納税の仕組みを活用し、「次世代応援」や「自然環境保護」を目的とする自治体のさまざまなプロジェクトを直接支援することができる「JALふるさとクラウドファンディング」サイトを10月1日に開設しました。
- ▶ 寄附対象となるプロジェクトについて、自治体と協力して、JALグループがプロジェクトの立ち上げからサイト運営の支援、情報発信などを担うことで、プロジェクトを推進していくことが特徴です。



- ・「JALふるさとクラウドファンディング」サイトURL : <https://furusato.jal.co.jp/jgcf/>
- ・ご利用方法・付与マイル数 : 寄附者は応援したいプロジェクトを選択し寄附を実施することで、100円で1マイルがたまります。プロジェクトによっては、返礼品がもらえます。